

令和4年度 教職員等環境教育・ 学習推進リーダー養成研修



https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher

環境省では、文部科学省の協力の下、持続可能な社会の構築を目指して、さらにはSDGsという世界共通の未来の価値を相互に磨き合う協働・共創を通して、学校や地域で質の高い環境教育・ESDを実践・推進するリーダー人材を育成することを目的に、本研修会を開催します。

受講料無料

研修内容

本研修では、学校におけるカリキュラム・マネジメント等の実践力向上を目指すカリキュラム・デザイン・コースと、環境教育・ESDにおける体験活動の実践力向上を目指すプログラム・デザインコースの2つを設けました。

カリキュラム・デザイン・コース

学校や地域において、教科横断型で地域共生の視点を取り入れた環境教育を推進していくリーダー人材を育成することを目的とする研修です。

内容

参加者が環境教育・ESDのカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、講義とグループワーク（各教科等と関連させた環境教育・ESDの指導計画表〔所謂、ESDカレンダー〕を作成するための演習）で構成します。3つの研修スタイルがあります。裏面を参照ください。

対象

学校関係者（小・中・高校等の教職員など）、教育委員会、地方公共団体など環境行政に携わる人

※裏面詳細を参照ください。



プログラム・デザイン・コース

持続可能な社会づくりへの主体的な参加を促進していくうえで有効な「体験活動」を企画・実践していくことのできるリーダー人材を育成することを目的とする研修です。

内容

事業者が提供している「体験活動」を実際に体験したり取り組みに携わる人と交流したりするほか、得られた気づきを参加者同士で共有するためのグループワークを実施します。

対象

学校関係者（小・中・高校等の教職員など）のほか、行政関係者、民間企業やNPO/NGOのスタッフ、大学生等

※詳細は研修公式サイトにて参照ください。



カリキュラムデザイン担当講師

～環境教育・ESDの実践・指導経験が豊富な講師陣です～



石田好広
目白大学人間学部
児童教育学科 教授



岡本弥彦
岡山理科大学
教育推進機構教職
支援センター 教授



小澤紀美子
東京学芸大学
名誉教授



関口寿也
東京都多摩市立
蓮光寺小学校
校長



棚橋乾
全国小中学校
環境教育研究会
顧問



松井孝夫
尾瀬高校
活性化委員会
専門委員

（敬称略）

上記の中の講師数名が各回に参加します。プログラムデザインについては上記講師の中から1名が同行し、ワンポイントアドバイスとしてESDに関する講義を行います。

コロナ対策について

- 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づく対策の実施
 - ・マスクの着用
 - ・ソーシャルディスタンスの確保
 - ・アルコール設置と手指消毒
 - ・会場の換気、消毒
 - ・講師・スタッフの健康管理の徹底

●参加者様へお願い

- ・室内におけるマスクの着用
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・手洗い消毒
- ・咳エチケットのご協力
- ・体調不良時の参加自粛



令和4年度

教職員等環境教育・ 学習推進リーダー養成研修

カリキュラム・デザイン・コース

内容

参加者が環境教育・ESDのカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、講義とグループワーク（各教科等と関連させた環境教育の指導計画表〔所謂、ESDカレンダー〕を作成するための演習）で構成します。

※研修受講にあたり、事前課題シートのご提出が必要です。

集合型研修 ①(オンライン形式)

講義およびグループワークをオンライン会議システム「ZOOM」を使って開催します。

日時 9月23日(金・祝)

講義:10:00~12:00(定員100名程度)

グループワーク:13:00~17:00(定員40名程度)

集合型研修 ②(オンライン形式・対面形式の併用)

講義をグループワーク実施前の2週間、YouTubeで研修ビデオを配信します。グループワークは、研修会場にて対面式で開催します。

グループワーク

日時 11月5日(土)
13:00~17:30
(定員100名程度)

会場 TKP東京駅カンファレンス
センター(東京都)

アクセス JR東京駅
八重洲中央口 徒歩約1分

日時 11月23日(水・祝)
13:00~17:30
(定員100名程度)

会場 新大阪丸ビル別館
(大阪府)

アクセス JR新大阪駅
東口 徒歩約2分

講師派遣型研修：全国から10カ所を募集します

学校や教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して集合型研修と同様の研修を実施します。講師派遣を希望する団体のニーズに沿う形で、研修の日程・内容等を調整し研修を行います。

既にESDカレンダーを取り入れている学校については作成実施後の評価手法など学校の進捗度に沿った研修を行うこともできます。

また、ホールスクールアプローチの向上にもつなげることができます。

条件

- 研修参加者が原則として20名程度以上確保できること
- 研修時間を3~6時間程度確保できること
- 研修会場の確保および新型コロナウイルス感染症対策の措置を講じること

日程

日程や研修内容などは、派遣先の希望等に応じて柔軟に対応していきます。



過去参加者からの声

授業や行事をESDカレンダーによって関連させて考えることができました。

グループワークでは、普段聞けないような他教科の先生の意見を聞いて有意義だった。

地球の現状を改めて実感し、SDGsを通し生徒たちに伝えていかなければならないと再認識した。

SDGsを達成するには教育が欠かせない

総合を中心にカリキュラムマネジメントをして、経験を通して子どもたちに実感させていこうな教育をしていくことが大切だと思います。

申込方法

研修公式サイト内、各コースの「お申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、送信して下さい。

講師派遣型研修については、メールでご相談ください。

研修公式サイト https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher

申込み切 各研修日の1週間前まで ※定員に達し次第メ切ります。

受講料 無料 ※研修会場・集合場所までの旅費や昼食代等は自己負担となります。



お問い合わせ先

研修運営事務局 公益社団法人日本環境教育フォーラム内(担当:清水、加藤(有))

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル1階

TEL: 03-5834-2897 E-mail: esd-kensyu@jeef.or.jp